

33. 基本情報技術者試験対策講座(弱点克服コース)

■ゴール

- 基本情報技術者の有資格者になることにより、共通キャリア・スキルフレームワークのレベル定義のレベル2になる。
- レベル2の定義
上位者の指導の下に、要求された作業を担当します。プロフェッショナルとなるために必要な基本的知識・技能を有する。スキル開発においては、自らのキャリアパス実現に向けて積極的なスキルの研鑽が求められます。

■午前試験対策研修カリキュラム(5回・5日間・9:00-17:00)

※研修カリキュラムの内容・回数は御社のニーズによりカスタマイズが可能です。

回	分野	科目	詳細内容	
1	オリエンテーション	モチベーション管理	1. 合格するにはモチベーションが大切	
			2. 仕事に必要なスキル	
			3. 資格と取得することで得られるもの	
			4. 資格を自分事にとらえよう(目的意識)	
		受験戦略	1. 受験情報	
			2. 受験戦略(試験の傾向と科目別の攻略法)	
	コンピュータシステム	コンピュータ構成要素	1. 授業の受け方	
			2. 自宅での学習方法	
			3. 学習過程のモデリング(学習を効果を焦らないために)	
			1. コンピュータ構成要素	
2	基礎理論	基礎理論	2. CPU	
			3. 記憶装置	
			4. 入出力装置	
			5. 入出力インターフェース	
			1. 基数変換	
3	コンピュータシステム	システム構成要素	2. 論理演算	
			1. システム構成方式	
			2. 信頼性向上	
			3. 稼働率	
			4. 性能指標	
	技術要素	ソフトウェア	ソフトウェア	1. オペレーティングシステム
				2. プログラミング
				3. オープンソースソフトウェア
				4. ヒューマンインターフェース
				5. マルチメディア
4	ネットワーク	ネットワーク	1. プロトコルとTCP/IP	
			2. インターネット	
			3. LAN	
			4. WAN	
			5. ネットワークの伝送速度	
4	セキュリティ	セキュリティ	1. 暗号化技術	

5	データベース	2. 認証技術
		3. 不正アクセス・ネットワーク犯罪とその対策
		4. セキュリティマネジメントとリスクマネジメント
		1. 関係データベースの基礎
		2. 正規化理論
		3. データベース設計とE-R図
		4. DBMSの機能
		5. SQL
		6. データベースの応用技術

■午後試験対策研修カリキュラム（3回・3日間・9:00-17:00）

※研修カリキュラムの内容・回数は御社のニーズによりカスタマイズが可能です。

回	分野	科目	詳細内容
1	午後対策	午後対策	午後対策のレクチャー
	データ構造及び アルゴリズム	擬似言語	擬似言語の記述形式
2・3	プログラミング言語	CASL II	1. CASL II基本命令 2. CASL II演習